

(10) 函館(入舟)地域

指定基準	講 評	該当 状況
イ .当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。	函館(入舟)地域は「入舟地域丸ごと PR 構想」をキャッチフレーズとして、漁港周辺の歴史・観光資源を活かし、住民・市民・来訪者が憩う漁港エリアの形成を目指した計画となっており、地域にとって価値あるビジョンとなっている。	
ロ .当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込み、北海道マリンビジョン 21 の具現化に資する計画となっていること。	<p>ビジョンは地域にとって有益なものとなっているものの、現段階で他地域を先導するような顕著なモデル性は見受けられない。</p> <p>今後は、函館市水産振興計画や函館水産・海洋都市構想を踏まえ、近隣漁港の中での位置付けを明確にし、ネットワークの中での、漁業を主体とした取組みも期待したい。</p>	
ハ .当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。	多様な参加者による議論のほか、意見交換会も開催されており、十分な議論がなされた計画であると評価できる。	
ニ .当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン 21 の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。	拠点となる函館漁港は、衛生管理型の漁港施設が整備されており、地域マリンビジョンの一助と期待されるほか、ビジョン実現に向けた継続的な取組みによって漁港の効用の最大限発揮が見込まれる。	
ホ .地域マリンビジョンの実現に向けた取組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組み主体の熟度が認められること。	<p>ビジョンの取組みは一部行われているものの、地域の目指す姿である住民、市民、来訪者が憩う漁港エリアの形成については、その実現性には課題を残している。</p> <p>今後は、フォローアップを通じて、漁業を主体とした入舟地区の位置付けの検討を含めて、ビジョン実現に向けた取組みの一層の活発化に期待したい。</p>	